

【被服衛生学セミナー報告】

平成25年度 第32回被服衛生学セミナー報告

人と環境にやさしい衣服～快適性を科学する～

平林由果

金城学院大学 生活環境学部

はじめに

本部会では、会員が研究手法や関連の見識を深めることを目的として、毎年夏季にセミナーを開催しています。本年度は新たな試みとして、被服材料学部会と合同でセミナーを開催することになりました。両部会員の活発な研究交流を図ることを目的とし、両部会の共通のテーマである快適性に焦点を当て、セミナーのタイトルを「人と環境にやさしい衣服～快適性を科学する～」としました。「第32回被服衛生学セミナー」は中部地区が担当、「第42回被服材料学セミナー」は関東地区が担当であったため、静岡での開催となりました。

セミナー概要

JR 浜松駅から直結の浜松アクトシティ研修交流センター（静岡県浜松市中区板屋町 111-1）
<http://www.actcity.jp/about/access.php> を会場とし、2013年8月24日（土）～8月25日（日）に開催しました。

1日目は被服材料学部会との合同セミナーとし、4名の招待講演とパネルディスカッションで構成しました。本セミナーは日本家政学会の活動助成を受けており、その趣旨に鑑み、はじめの招待講演2件を一般公開（無料）としました。

2日目は各部会での開催でしたが、交流は自由としました。また、午後には各自で隣接する楽器博物館を見学して頂きました。

セミナー参加状況

セミナー参加費および経費はすべて両部会で折半としたため、両部会に所属している会員は、どちらの部会に参加申込をしてもよいこととしました。

1日目の合同セミナー参加者は、家政学会会員

65名、学生25名、非会員（講演者）5名で、合計95名でした。残念ながら、一般参加者はありませんでした。2日目の各部会の参加者は、被服衛生学部会は、家政学会会員35名、学生6名、非会員2名で、合計43名、被服材料学部会は、家政学会会員30名、学生19名、非会員2名で、合計51名でした。

セミナー内容

1. 合同セミナー

セミナー1日目は、以下のように一般公開講演2件、公開講演2件、パネルディスカッションで構成しました。衣服の快適性を研究されている講師の先生方から、様々な立場・研究手法についてお話を頂きました。パネルディスカッションでは、諸岡晴美先生（被服衛生学部会から）と牛腸ヒロミ先生（被服材料学部会から）に、コーディネーターをお願いしました。快適性について、種々の観点から活発に意見が述べられ、質疑の時間が足りないほどでした。

1) 一般公開講演

「高所・極地の気候と衣料装備」農業・食品産業技術総合研究機構フェロー 横山宏太郎氏

「アスリートからの提言－快適なスポーツウェアとは？」静岡大学教育学部・教授 村越 真氏

2) 公開講演

「生理的機能量計測に基づく感性評価・設計の試み」信州大学纖維学部・准教授 金井博幸氏

「浜松の地場産業と緑茶染め－糸から織物へとその応用－」株式会社エルブ・専務取締役 吉田貴美氏

3) パネルディスカッション

コーディネーター：牛腸ヒロミ氏、諸岡晴美氏

パネラー：横山宏太郎氏、村越 真氏、金井博幸氏、吉田貴美氏

2. 部会セミナー

セミナー2日目は、以下のように会員による講演と若手研究発表4件で構成しました。被服材料学部会も同様の構成でしたが、両部会の講演を拝聴できるように、講演時間をずらしてプログラムを組みました。若手研究発表では、大学院生など若手研究者から最新の興味深い研究が発表され、活発な議論が行われました。

1) 講演

「ファッショントリニティの力で科学するための試み 一脳波解析により心をはかる 一」

京都女子大学教授 諸岡晴美氏

<参考：被服材料学部会講演>

「においが人の心に及ぼす影響とその測定法」

実践女子大学教授 牛腸ヒロミ氏

2) 若手研究発表

「なぜ靴底の踵は偏って摩耗するのか 一下肢の体型・歩容の違いから検討一」金城学院大学 伊藤海織氏，元福岡女子大学 森藤絵里沙氏

「履き物が歩容に及ぼす動態力学的影響 一若年者と高齢者を比較して一」文化学園大学大学院 青木誠子氏，永井伸夫氏，田村照子氏

「レッグファッショントリニティの審美性評価 一アイマークレコーダによる視線解析法を用いて一」文化学園大学大学院 鈴木千怜氏，小柴朋子氏，田村照子氏

「乳児型サーマルマネキンを用いた乳児用衣服の熱抵抗測定」京都教育大学 柴田 ゆい乃氏，深沢 太香子氏，九州大学大学院・放送大学福岡学習センター 栃原 裕氏

3. 懇親会

セミナー会場である浜松アクトシティ内にある「オーディトリアム」において、被服材料学部会と合同で懇親会を実施しました。66名の参加があり、盛大に開催することができました。両部会の会員交流にとって、よい機会となったと思われます。

4. 見学会

今回は、会場が浜松であったため、世界的にも珍しい楽器博物館 (<http://www.gakkihaku.jp/>) の見学を組み入れました。世界のあらゆる楽器を偏り無く収集展示し、楽器を通して、人間の文化を紹介している博物館です。土日は、定期的に展示楽器の演奏が行われており、生の楽器の音色を

楽しむことができました。



おわりに

本セミナーは、被服材料学部会と協力して合同セミナーとして開催することができました。両部会合わせて95名の方が参加して下さり、盛況のうちに終わることができました。アンケートに回答して下さった方全員が合同開催については、よかったですと評価して下さいました。一方、2日目が並列開催であったため、両方の講演も研究発表も聞きたかったというご意見も寄せられました。セミナーでは、活発な議論が交わされ、両部会員の交流も達成されたと思われます。これも、大変お忙しい中、ご講演を引き受けて下さった講師の先生方、そして、セミナーに参加して下さった皆様のお蔭です。心より感謝し、御礼申し上げます。

最後に、本セミナーの運営にご協力頂きました実行委員の先生方ならびに、被服材料学セミナー実行委員長の澤渡千枝先生（静岡大学）はじめ、実行委員の皆様に深く謝意を表します。

第32回被服衛生学セミナー実行委員会 (中部地区担当)

顧問 成瀬 正春（金城学院大学）

委員長 平林 由果（金城学院大学）

委員 伊藤 海織（金城学院大学）

内田 有紀（金城学院大学）

平岩 曜子（金城学院大学）

間瀬 清美（名古屋女子大学）

三野たまき（信州大学） (50音順)

＜連絡先＞

〒463-8521 名古屋市守山区大森2-1723

金城学院大学生活環境学部 平林由果

電話：052-798-0180 FAX：052-798-0370

eメール：hirabaya@kinjo-u.ac.jp